

**教科目標**

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

1学期 主な学習内容（36時間）	2学期 主な学習内容（40時間）	3学期 主な学習内容（29時間）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・春に</li> <li>・なぜ物語が必要なのか</li> <li>・情報を確かめてスピーチをする</li> <li>・私</li> <li>・構成を工夫して主張をまとめる</li> <li>・情報・メディアと表現</li> <li>・呉音・漢音・唐音</li> <li>・助詞のはたらき</li> <li>・AIは哲学できるか</li> <li>・客観性や信頼性のある記事を書く</li> <li>・熟字訓</li> <li>・和語・漢語・外来語</li> <li>・四季のたより</li> <li>・立ってくる春</li> <li>・薔薇のボタン</li> <li>・書写</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ a s y n c—同期しないこと</li> <li>・ 問いかける言葉</li> <li>・ 説得力のある批評文を書く</li> <li>・ 助動詞のはたらき</li> <li>・ 実用文の情報を捉えて生かす</li> <li>・ 相手に対する配慮と表現</li> <li>・ 旅への思い</li> <li>・ 風景と心情</li> <li>・ 異字同訓</li> <li>・ 俳句の味わい</li> <li>・ 故郷</li> <li>・ コミュニケーションの場を考える</li> <li>・ 評価しながらスピーチを聞く など</li> <li>・ 和歌の調べ</li> <li>・ 最後の一句</li> <li>・ 慣用句・ことわざ</li> <li>・ 初恋</li> <li>・ 自己PRを書く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 持続可能な未来を創るために</li> <li>・ 「対話力」とは何か</li> <li>・ 自分の意見を述べるとき</li> <li>・ 意見を共有しながら話し合う</li> <li>・ 中学校生活をまとめて作品集を作る</li> <li>・ パースデイ・ガール</li> <li>・ 青春の歌</li> <li>・ やわらかな想い</li> <li>・ 書写</li> </ul>

**評価の観点と規準（各観点の割合は、全て達成率100%で統一する。）**

	評価の観点（1学期より抜粋）	評価の方法・資料	評価方法の基準と「概ねB評価」等の設定（行動目標）
I 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、日本の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようになることを目指し、説明文、物語文、詩、漢字、文法などの学習内容を理解して使うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【全教科共通】</li> <li>・ 定期テスト</li> <li>【各教科の方法・資料】</li> <li>・ 漢字小テスト</li> <li>・ 文法小テスト</li> <li>・ 聞き取りテスト</li> <li>・ 書写作品</li> <li>など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期考査は50点の配点を基本とする。記述、記号選択式など複数の形式で出題する。漢字の問題は、楷書で、止め、はね、払いなどの基本点画を意識して書くこと。</li> <li>・ 漢字小テストはすべて記述式で出題し、10点満点を基本とする。</li> <li>・ 書写作品は、A、B、Cで評価する。 A＝手本や基本となる点画を踏まえた書き方ができていることに加え、紙面全体の配列や調和を意識して書くことができている。 B＝手本や基本となる点画を踏まえた書き方ができている。 C＝手本や基本となる点画を踏まえた書き方ができていない。</li> </ul>
II 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになることを目指し、話すこと、聞くこと、書くこと、読むことの活動を通して、思考力や想像力を養うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【全教科共通】</li> <li>・ 定期テスト</li> <li>【各教科の方法・資料】</li> <li>・ ワークシート</li> <li>・ 説明文</li> <li>・ 批評文</li> <li>・ ノート</li> <li>・ 発表資料</li> <li>・ 発表の様子</li> <li>など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期考査は50点の配点を基本とする。記述、記号選択式など複数の形式で出題する。文章作成問題は減点法で採点することを基本とする。例：誤字脱字－1点、原稿用紙の使い方の誤り－1点など。</li> <li>・ 説明文や批評文は、A、B、Cで評価する。 A＝書式の形式や指示された内容を満たし、比較や関係づけを踏まえて根拠や具体例を挙げるなどしてわかりやすく書くことができている。 B＝書式の形式や指示された内容を満たして書くことができている。 C＝書式の形式や指示された内容を満たして書くことができている。</li> </ul>
III 主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、日本の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養うことを目指し、自らの学習状況を把握し、自らの学習を調整することを通して、その能力の向上を図ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【全教科共通】</li> <li>・ 「知識及び技能」の観点の評価</li> <li>・ 「思考力・判断力・表現力等」の観点の評価</li> <li>【各教科の方法・資料】</li> <li>・ 漢字プリント</li> <li>・ ノート</li> <li>・ 長期休業中の課題</li> <li>・ 自主学習</li> <li>など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【全教科共通】</li> <li>・ 「知識及び技能」の観点の内容について、指示に従ってしっかり行おうとしたり、学ぼうとしたりする。</li> <li>・ 「思考力・判断力・表現力等」の観点の内容について、指示に従ってしっかり行おうとしたり、学ぼうとしたりする。</li> <li>・ 授業、課題に意欲的に取り組み、意見を積極的に発言しようとする。</li> <li>【各教科 独自の方法】</li> <li>・ ワークシートは、A、B、Cで評価する。 A＝すべての課題に対して回答を書き加えている、さらに自分で調べたことや説明されたことなどを書き加えている。 B＝すべての課題に対して回答を書いている。 C＝すべての課題に対して回答を書いていない。</li> </ul>